

### 第341回 政経フォーラム (11月27日)

### ジャーナリスト 藤原亮司氏



今回は「シリア内戦と日本人の深層」と題して、ジャーナリストの藤原亮司氏から講演をいただきました。

シリア内戦の概要と、現地での生々しい体験を映像を織り交ぜながらお話いただきました。「国家は力を持つている。その国家が人を殺しているのだろうか」とも提起いただき、平和な人の暮らしがあったところが戦場になると一瞬で破壊されてしまう現実も突き付けられました。

また、「戦地からもSNSが発信されるが、その内容は本当なのか、第三者が現地を見ることは必要。だから、取材に行く必要がある」ということも訴えられました。そして、自分がいかに情報を得て、どう考えるかということをしなければ、物事は見えてこないと話されました。

そして、ジャーナリストの仲間である安田純平氏が、シリア国境で武装組織に拘束された当時の話などもお話いただきました。詳細はセミナーに掲載します。

### これからも一致団結して進んでいきます！

### ステーションサービスマン協会 大望年会

12月7日、ステーションサー

ビス協議会は、毎年の恒例となったレクリエーションを、今年度は大望年会として東京ドームホテルスーパードライニング「リッサー」にて開催しました。総勢20名の仲間が結集し、ブツブツを楽しみました。

当日は、過去最高の支給額となった年末手当の感想や、日頃の業務における問題点など様々な情報交換をしました。そして、日頃の苦闘を参加者全員でねぎらいました。

ステーションサービスマン協会は新年に向けて、組合員一致団結し



て出発することを確認しました。JR東労組の必要性を訴え、仲間と共に組織強化・拡大に向けて奮闘していきます！

### 仲間と共に 第12回ボウリング大会 本気で楽しく組織強化をしていきます！



11月27日～28日、盛岡地本準備のもと盛岡市「マツハランド」にて、第12回ボウリング大会を開催し、総勢76名の仲間が集まりました。

1日目は、Aクラス（本気でボウリングの部）とBクラス（楽しくボウリングの部）の2つのクラスに分けて個人戦が行われました。

2日目は、朝8時から講演会と総会を行いました。講演会では本部・長谷業務担当部長より、「施策が複合的に進められている。その中でも組合員の安全・健康・ゆとりを第一に考え交渉してきた。しかし、組織の現状を見ると今まで通りにはいかない部分もある。だからこそ、サークル活動を通じて組織の強化をつくっていくなくてはならない」などが話されました。

その後、ホテルからバスでボウリング場に移動し、団体戦に臨みました。熱いたたかいが繰り広げられ、委員長杯では各地本参加者のアベレージが一番高かった大宮地本が2年ぶりに奪還しました。

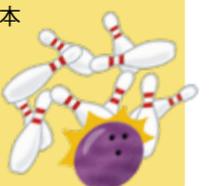
これからも、サークル活動を通じてJR東労組の強化・拡大をめざしていきます。

団体戦  
優勝 東京地本A  
準優勝 横浜地本C  
第3位 大宮地本

委員長杯  
大宮地本

Aクラス（本気でボウリング）の部  
優勝 進藤 満浩さん（盛岡地本）  
準優勝 内藤 仁さん（横浜地本）  
第3位 大河原 和也さん（大宮地本）

Bクラス（楽しくボウリング）の部  
優勝 門口 貴俊さん（横浜地本）  
準優勝 増田 富雄さん（横浜地本）  
第3位 傳農 雅浩さん（秋田地本）



### 森びと設立15年感謝の集い



### 地球環境を守るのには

### 地球に住んでいる私たち人間の責任だ

NPO法人「森びとプロジェクト委員会」の設立から15年が経ち、中心的に担ってきたインストラクターの方や、支援している方々が集い、これまでの活動と歴史を振り返りました。この間、多くの仲間が設立以来活動を担って来ました。

参加されたインストラクターの方からは「森づくりの指導者であった宮脇先生から『本物になれ』と指導されて、今まで活動してきた「山と心に木を植える」ことを目的に

取り組んだことで、地球環境に問題意識を持つ仲間が増えた」など、体験に基づいた想いが語られました。また、シンガソングライターのSoyji（チヨージ）さんが「心の森コンサート」を行い、心に響く歌を通じて場を盛り上げました。

地球温暖化をはじめ環境破壊をしているのは人間であることの自覚に立ち、私たちが住みやすい環境をつくり出していくために、森びとプロジェクト委員会の活動を継続して取り組んでいくことが重要です。地球環境を真剣に考え、自然を大事にする輪を仲間と共に広げていきましょう！

### 写真部撮影会



### サークルを通じた仲間づくりを 実践していきます！

11月10日～11日に、写真部撮影会を開催しました。鬼怒川温泉に宿泊し、東武線SL大樹号の撮影と日光方面で撮影会を行いました。

OB・エルダの先輩を含め総勢17名の参加で、想いおもいに撮影を楽しむことができました。秋の観光シーズンということもあり、鬼怒川温泉界隈や東武線内は、非常に混雑しており、外国人観光客も多く見受けられ、駅や車掌の英会話での案内などを学ぶことができました。

美世志会の齋藤秀一さんから「えん罪JR浦電事件の弾圧から17年を迎え、当時の仲間に対



する想いや、たたかひの苦闘を今一度振り返り、今は、仲間を信じてたかかってよかった」と講演をいただきました。

新生JR東労組への再出発のため、あらためて再加入の取り組みの重要性を認識し、サークルを通じた仲間づくりをお互いに実践することを確認し合い、撮影会を無事に終了することができました。

